

find を使う

<http://sonic64.com/2004-05-26.html>

du コマンドは、ファイルサイズではなくブロックサイズで表示するので正確な数値が表示されない。

```
$ find ./ -type f -printf "%s\n" |awk '{ sum += $1; }; END { print sum }'
```

で正確なファイルサイズの合計が表示される

du を使う

du -s */

でカレントディレクトリ以下のディレクトリごとの使用量を見れる（はず）最後の「/」が微妙。

書式

du [オプション]... [FILE]...

説明

引数で指定した各 FILE のディスク使用量を表示する。引数がディレクトリの時は再帰的に表示する。

-a, --all

ディレクトリだけでなく全てのファイルについてディスク使用量を表示する。

--block-size=SIZE

SIZE バイトのブロック単位を使う。

-b, --bytes

バイト単位で表示する。

-c, --total

総計を表示する。

-D, --dereference-args

引数で指定したシンボリックリンクをたどる。（訳注：他のシンボリックリンクには影響しない。このオプションは、大抵シンボリックリンクになっている /usr/tmp のようなディレクトリのディスク使用量を調べるのに便利である。）

-h, --human-readable

人が読み易い形式 (e.g., 1K 234M 2G) で表示する。

-H, --si

同上。但し、1024 倍単位ではなく 1000 倍単位を用いる。（訳注：si とは国際単位系のこと。）

-k, --kilobytes

--block-size=1024 と同様。

-l, --count-links

ハードリンクの場合は何回となくディスク使用量を集計する。

-L, --dereference

全てのシンボリックリンクをたどる。

-m, --megabytes

--block-size=1048576 と同様。

-S, --separate-dirs

個々のディレクトリの使用量を、そのサブディレクトリの使用量を含めずに表示する。

-s, --summarize

引数で指定したものの総計のみ表示する。

-x, --one-file-system

異なるファイルシステムのディレクトリは除外する。

-X FILE, --exclude-from=FILE

指定した FILE ファイル中のパターンに一致するファイルは除外する。

--exclude=PAT

指定した PAT パターンに一致するファイルは除外する。

--max-depth=N

コマンドライン引数より最大 N 個下の階層までのディレクトリを（--all の指定があればファイルも）集計する。 --max-depth=0 なら、--summarize と同等となる。

--help

使用方法を表示して正常終了する。

--version

バージョン情報を出力して正常終了する。

http://www.linux.or.jp/JM/html/GNU_fileutils/man1/du.1.html